

今津・元岡 みどころ案内

①白山神社

正保3年(1646年)に大原地区が開拓されたとき、柑子岳に祀られたのがはじまりで、明治17年に風光明媚な現地に移されました。



②今津元寇防塁

鎌倉時代、元が来襲した文永の役(1274年)の後、再度の来襲に備えて、博多湾に沿った約20kmの海岸に築かれた石築地が元寇防塁です。築造当時は約3mの高さに積み上げられていました。

広場には休憩所を兼ねた展示施設があります。



③登志神社・今津人形芝居

今津は、古代「登志郷」と呼ばれ、その湊鎮守のために祀られた神社です。成人の日には、「今津の十一日松離子」が催され、山笠や山車が町内を走ります。

境内で行われていた「今津人形芝居」(県指定無形民俗文化財)は、現在は毎年10月にさいとびあなどで公演しています。



④勝福寺

大覚禪師が開山し、鎌倉幕府5代執権、北条時頼を壇越として建長元年(1249年)に創建されました。延文5年(1360年)には朝廷の勅願寺となりました。

国指定文化財「絹本着色大覚禪師像」や数々の中世の文書が伝わります。



⑤四所神社(今津)

祭神は、天照大神、住吉大神、八幡大神、春日大神です。

筑前国風土記によれば、ここは異国船の出入りしたところであったので、その鎮守の為に勧請されたと伝えられています。



⑥今津干潟

瑞梅寺川が今津湾に流れ込む河口の干潟で、クロツラヘラサギなどの野鳥が訪れます。カブトガニの産卵地としても有名です。



⑦毘沙門山

名は、栄西が誓願寺の奥の院として創建した山頂の毘沙門堂に由来します。

山頂からは、眼下の長浜海岸をはじめとした美しい景色を楽しむことができます。



⑧宝島・福岡県水産海洋技術センター

今津湾に浮かぶ宝島は、日本三大宝島のひとつとされています。

センターの前身である福岡水産試験場は、明治31年に日本で2番目にできた福岡県の水産試験研究機関です。現在の施設は平成10年度に開所されました。水産資料館は、魚や漁業のことなどを映像やパネルで分かりやすく展示しています。



⑨誓願寺

筑前怡土・志摩両郡の豪族、仲原氏の娘の発願で、安元元年(1175年)に、臨濟宗の開祖である栄西を招いて創建されました。

栄西直筆の書である国宝「誓願寺孟蘭盆縁起」や海外交流を裏付ける「銭弘叙八万四千塔」、「孔雀文沈金経箱」(ともに国重要文化財)が伝えられています。



銭弘叙八万四千塔

⑩熊野神社

今津漁港の背後に位置し、当地の産神です。拝殿には、明治から昭和の武者絵馬があります。



⑪八大龍王

栄西が中国から帰ってくるとき、暴風雨に遭いましたが、八大龍王の加護により、九死に一生を得て無事に帰国したことへの報恩の意味で祀られています。



⑫東泉寺・桑原飛櫛貝塚

東泉寺は、博多崇福寺の古外大和尚が、同寺の末寺として、寛文年間(1661~1673年)に建立しました。大応国師像や涅槃図などが伝えられています。

桑原飛櫛貝塚は、西区内の貝塚で最も古く、縄文時代後期のものと考えられ、貝層の中から人骨や獣骨などが出土しました。



⑬四所神社(元岡)

菅原道真などを祭神とする村の産神です。境内に大きなイチヨウの木があります。

毎年4月に城南区田島に伝承されている「田島神楽」(市指定無形民俗文化財)が奉納されています。



⑭元岡瓜尾貝塚

昭和31年(1956年)に発見されました。縄文時代後期後半を主としたもので、縄文土器や黒曜石を使った石器、鹿や猪の骨、人骨などが出土しています。昭和43年(1968年)に県の史跡に指定されました。



⑮杉能舎酒造資料館

140年前の酒蔵を改修した酒蔵資料館。昔ながらの「酒ふね」の展示や醸造工程を分かりやすく説明したパネルで、日本酒造りの不思議さを実感できます。TEL 092-806-1186



⑯八坂神社

おこなむちのみこと 大己貴命など村内数社の祭神を大正時代に元岡村村社の八坂神社に合祀したものです。

毎年7月中旬に祇園祭が催され、「元岡祇園ばやし」、「元岡獅子舞」(ともに指定無形民俗文化財)が奉納されます。



散策モデルコース

今津コース

- 今津運動公園 約20分
- 今津元寇防塁 約10分
- 蒙古塚 約5分
- 登志神社・勝福寺 約5分
- 毘沙門山登山口 約10分
- 四所神社(今津)・今津干潟 約15分
- 八大龍王 約5分
- 熊野神社 約15分
- 宝島・福岡県水産海洋技術センター 約20分
- 誓願寺 約10分

元岡・白山神社コース

- 八坂神社・杉能舎酒造資料館 約10分
- 元岡瓜尾貝塚 約25分
- 四所神社(元岡) 約5分
- 白山神社 約30分
- 東泉寺 約5分
- 桑原飛櫛貝塚 約5分